7月27日 水曜日 26日発行
昭和30年西暦1955年

発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話 代表 京橋(56)8646
(直通)販売(〃)0437 広告(〃)3995
編集局 港区芝田村町5の6
電話 代表 芝(43)1163
振替 貯金口座 東京170071

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES

第3169号 (昭和24年6月27日第三種郵便物認可…第232号)
(中華郵政台字第637號…内政内警台誌字第0136号)

4版

あすの暦 7月27日・水 旧6月9日
月齢 7.6
日出 前 4.44
日入 後 6.50
月出 前 0.41
月入 後 11.05
満潮 前 10.55 後 10.25
干潮 前 4.25 後 3.20
(小潮)

天気予報
今晩 南の風晴、一時曇、山沿いは俄雨、または雷雨。
明日 南の風晴、一時曇。

粋人酔事

岩風呂のお稲荷様



知らないということは仕方ないものである。私は子供の頃から大変なおませであったし、現在は小さな油屋の経営者として、浮世でもみくちゃにされている境遇なので、およそ俗事に精通していて、女性ばなれがしている筈なのに、ときどきは知らないこともあって失敗する。

私は幼い頃、狐に化かされた話を聞いたり"きつねつき"という女の気狂いを見て、狐がおつかい神とされているお稲荷様にだけは近寄らないようにしていた。

実業家であった私の祖父は、庭の片隅にある池のほとりの築山の傍に、小さなお稲荷様を祀って、商売の繁昌を祈念していたし、油脂化学界の第一人者の三輪善兵衛さんの邸では、雨の日でも風の日でも当主が邸内のお稲荷様へお燈明を点ずるならわしになっていたのを見きゝしていたけれど、戦時中皇居や明治神宮、靖国神社の前で敬礼を強制された時でさえ、他の神社仏閣にはお詣りしても、お稲荷様だけは敬遠していた。

ところが先年、お友達にさそわれて伏見のお稲荷様の頂上まで参詣して以来、ご縁日にはいき筋の女性や問屋の旦那さん方に交じって、あげをさゝげておいなり様にお詣りするようになった。

二、三年前大阪で、日帰りの予定を急に一泊しなければならない用事が出来て、予算の都合で宿賃の安いロマンス・ホテルに泊ったことがあった。



私は銭湯や人の入った後のお風呂は入った経験もなく、また入らず嫌いでもあったのでホテルの女中さんに、お風呂がわいたら真っ先に知らして下さいと、くどく頼んでおいた。

むっつりした無愛想な女中さんの案内してくれたお風呂は、たきたてで湯気がもうもうしていた。お風呂場は岩風呂式の作りになっていて、隅に築山のようなスロープがあって、頂上に赤い鳥居のお稲荷様が祀ってあった。岩風呂式の浴槽は、池のようであったし、築山の傍の小さな"おじいさま"のお稲荷様が彷彿として、私はしばし少女時代を偲んだ。ただ私にはお風呂と、お稲荷様の関係がどうしても了解できなかった。

ヴィナスでも祀ってあるのなら、自分の裸像を浴室内の鏡にうつしながら「八頭身にさせ給え」とでも祈るかも知れないが、裸体で"いなり詣"はいさゝか変にも思われた。手拭をバタフライ代用に礼拝もならず、脱衣室へバスロープを取りに行きお稲荷様に敬礼してから悠然と浴槽へつかった。

部屋へ帰ったら女中さんが、相変らず無愛想にサイダーを持って来たので「おたくでは何故、岩風呂の中にお稲荷様を祀ってあるの?」ときくと「お稲荷様をお風呂の中に祀る筈がないじゃありませんか、そんなもの祀ってございませんよ」と一層不機嫌に答えるので、私も少々むっとすると同時に、幼い時みた女気狂のように、私もおかしくなったのではないかしらと、気味も悪くなったので、女中さんをなだめ〳〵二人で浴室へ行った。「何もございませんでしょう」と女中さんはいったけれど、お稲荷様はやはり厳然と存在しているので「あれよ」とスロープの上の赤い鳥居を指さした。と突然、女中さんは人が変ったように朗かに爆笑して「あれはベッドです」と涙を出しながら笑いころげた。

毎夜男女の交歓が行われたであろう浴室内のスロープ型ベッドに、私は敬虔な祈りを捧げたわけである。頂上の赤鳥居は枕であった。私はひどい近眼なのである。このことですっかり打ちとけた女中さんは、私とおなじみになって、私は大阪へ行くたびにそのホテルへ泊った。ホテルの出入りには通行の人がいまいましそうに私をにらんだり、アベックでない私をみじめそうに見つめたりしたけれど、滞在費の節約がうれしくて、私は他のことは気にもならなかった。(筆者は三興砿油社長)

大山瑛子

夏バテ返上 牛肉

都内、日に二百頭

うなぎと張り合う牛肉祭

○…おととしの夏からうなぎの強敵が現れた。「うしの日には牛を食いましょう」と全国を席巻した牛肉屋の「うし祭」攻勢である。神戸牛や松阪牛をひっぱって来て街頭デモをやったものだが、ことしはデフレとあって遠慮するという。それでも都内に三千軒ある肉屋がトラックや三輪車を総動員して宣伝に当るというから、ハデさにおいては六百軒のうなぎ屋はかないそうもない。

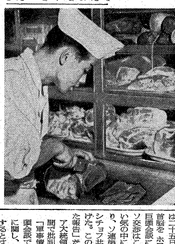
○…牛肉の強味は、たいがいの人間の口に合い、しかも値段が安いことである。こまぎれで我慢すれば百匁百円で一家四―五人の口に入れることができる。うなぎではせいぜい一人前しか買えない。最上の近江牛でも三百五十円である。だから都内で消費するうなぎは一日一千貫であるのに、芝浦屠殺場で殺す牛は日に二百頭、牛肉にして二万貫をこえるわけだ。このうち六割が営業用、四割が家庭用となっている。営業用といってもレストランやすきやき店で都民が食うわけだが、「うし祭」はこの家庭用をもっとふやそうという商魂からである。都心のあるデパートではこまぎれを八十円にしたら、一日五―六千円の売上が七万円にはね上ったというウソのような話があるが、ことしは土用の入りの十九日から七十円で売っている。百匁につき十円損するそうだが、「牛肉大衆化」の尖兵として大手筋の肉問屋が応援しているから、消費者には結構な話である。

○…肉というと明治の開港以来というのが常識だが、それはシロウト考え、実は神代の時代から常食であった。大国主命は作男に牛肉をごちそうしてやったし、スサノオノ命が馬の皮をアマテラスの機屋に投げこんだのも、牛肉ではないが、馬肉を食っていた証拠だという。食わなくなったのは仏教伝来後だが、実際は皆食っていた。それがキリシタン・バテレンの弾圧後元禄年間"触穢令"で牛馬家畜を食ってはいかんとあってタブーになったというから、牛の運命は宗教と深いつながりがある。

○…牛のおもな産地は北から会津、越後、富士、駿河、伊勢、近江、岩国、伊予といった所で、岩国が本来の和牛の産地、これに改良を加えたのが各地の牛だという。大体米と茶の名産地が牛もいい。有名な近江牛は丹波牛を米所近江で育てたのだし、松阪の牛も但馬牛に米を食わせて大きくしたものだという。これらの肉をうまくミックスすると一段とうまくなるというので、去年あるデパートで「三色牛肉」として売出したら売上げが十倍に上ったという。

○…牛肉の大衆料理はすき焼だが、これは百姓のスキに肉をのせて焼いたという起りからわかるように、焼くのであって、煮込むのではないというのがコツ。お狩場焼というのはその伝統をつぐもので、神田のある肉屋は独特の鍋で売っているし、銀座のYやS寮のすき焼は代表的な高級すき焼を食わせるが、一杯飲むと千円かかる。夏のすき焼はことに気分が肝心だが、渋谷にできたKという店では湯殿から上って冷房の部屋で浴衣がけで一杯やるという風にたくましい商魂をみせている。

○…二十七日の丑の日には「お肉召す人夏やせ知らず」と肉屋のうし祭が始まる。単位当りの栄養分では蛋白も脂肪もうなぎにはかなわない。しかし同じ金額では牛の方が多いというわけである。

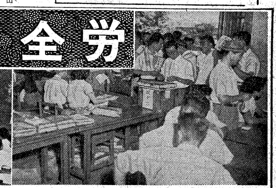


【写真は食欲をそそる牛肉】

総評 全労



全労大会、立てるは挨拶する重枝執行委員長



総評大会、出席代議員の受付風景

同時に二つの大会ひらく

会場うめる組合旗

壇上はスローガンの林

総評 (日本労働組合総評議会)の第六回大会は二十六日午前十時五十五分から東京青山の日本青年館で四日間の幕を開いた。会場入口には早くから各団体がビラをまき、会場正面には平和の鳩にかこまれた総評の旗を中心に「中ソとの貿易の自由、労働戦線統一、原子兵器禁止」などのスローガンがはられ、壁には参加組合の赤旗がめぐらされ、場内は白い開衿シャツ姿で三階まであふれる約二千名の代議員傍聴者でギッシリつまっている。

大会には加盟三十九単産二五九名の代議員、地評の特別代議員一三八名が出席、宮之原総評副議長の開会の辞、塩谷資格審査委員長が大会成立を宣言、議長団に占部秀男(自治労)市川誠(全駐労)阿部竹松(炭労)鈴木強(全電通)兼田富太郎(全港湾)の五氏を選出した。

藤田総評議長のあいさつの後、各団体、労働組合、友誼団体からの祝電、メッセージが披露され、鈴木委員長(左社)河上委員長(右社)黒田主席(労農)日本共産党春日議長、各政党代表の来賓あいさつがあった。午後からは日程を繰上げ高野事務局長の一般経過報告が行われ、早くも大会気分は高揚した。

全労 (全国労働組合会議=八十万人)第二回定期全国大会は二十六日午前十時二十五分東京港区芝中労委会館で開かれた。加盟六組合から代議員二百五十名、オブザーバー、傍聴者約六百名が集った。

まず総同盟重枝国際部長が開会の辞、滝田全労議長のあいさつの後大会議長団に古賀専(総同盟主事)滝田実(全繊同盟会長、全労議長)を選んだ。続いて河上右社委員長、勝間田左社総務局長の来賓のあいさつがあり、和田全労書記長から一般経過報告に入った。

大会は二十七日までの二日間開かれるが、第一日目午後は経過報告について質疑討論があった後、和田書記長から本年度運動方針の提案説明がある。

ソ連、若干譲歩を用意か

日ソ交渉 英の観測

【ロンドン二十六日発ロイター=共同】ソ連のマリク代表が巨頭会談に出席したため十五日の第七回会談以後中絶していた日ソ交渉は二十六日午後三時(日本時間午後十一時)から第八回会談を開く。ロンドンの外交筋は巨頭会談が成果を収めた後なので今やソ連は日ソ交渉で若干の譲歩を用意しているのではないかと臆測している。

なお巨頭会談のソ連代表団に加わっていたマリク全権は二十五日夜ロンドンに帰任した。

『四党首会談』希望

今国会中にも 『日ソ交渉』の推進で

首相言明

二十六日の参院外務委員会は鳩山首相、重光外相が出席して午前十時すぎから開かれ、四巨頭会談後の国際情勢およびこれに対処する日本の外交方針について質疑を行った。この日鳩山首相は佐多忠隆氏(左社)の質問に答え「国会終了前に日ソ交渉推進について自由、両社の三党首と会談したい」と発言、注目された。

質疑応答の要旨つぎの通り

佐多氏 巨頭会談をどう評価し、世界平和についてどんな見通しを持つか。

首相 巨頭会談が世界平和のため一歩前進した成果をおさめたことを喜ぶ。冷戦は終局に向って一歩前進したことは確かで、アジアでもこの空気が広がることを期待する。

佐多氏 会談によって国際情勢は変化した。従って日本の国際認識も変える必要がある。防衛力増強方針も再検討すべきだと思うがどうか。

首相 会談が平和のため成果をあげたとはいえ、世界平和はまだ力のバランスによるものと考えざるをえない。会談の成果がもっと明確に現われて米ソ間に何らかの取決めができれば次第に力の平和という形は薄れて行くと思うがまだその段階でない。従って現在のところ日本の根本方針は変えられないし、その考えも持っていない。

佐多氏 巨頭会談や日ソ交渉は各国の世論や日本の世論が大きな背景になっている。従って首相は日ソ交渉推進のため各党首と会う意思はないか。

首相 各党首と会談する機会を得たいと考えていた。日ソ交渉が遅れているので時期を待っていたが、国会終了前にでも自由、両社の各党首と会い、今までの経過を説明するとともに自分の考えも述べたいと思う。

來月末までに目鼻つけたい

余剰農産物買入れ 高碕長官談

高碕経済企画庁長官は二十六日の記者会見で余剰農産物問題について次のように語った。

来年の米国余剰農産物受入れについて二十五日マイヤー公使と会って米側の意向を聞いたが、はっきりした返事が得られなかった。これまでは買付分八千五百万ドルのうち三割が米側使用分だったが新年度購入分はこの割合を減らしてもらうよう交渉する。見返り円資金は農業開発に多く回したい。いずれにしても余剰農産物交渉は河野農相がアメリカに行って八月末までには目鼻をつけたい。

日本側デフレ政策を説明

IMF協議会

【ワシントン二十五日発共同】国際通貨基金(IMF)と日本代表との年次協議会は二十五日午後三時からIMF本部で開かれた。この協議会はIMFが毎年加盟国と個別に貿易、為替制限事情を協議し、制限緩和もしくは廃止を勧告するためのもので、九月開かれる第九回IMF総会の事前協議にあたる。会議は一週間継続される。第一日目の二十五日は日本側からデフレ政策とその影響について説明があり、質疑応答が交された。日本側からは渡辺公使以下が、IMFからはフリードマン為替制限局長などが出席した。

或る秀才馬鹿

ジグザグコース

ある新聞が、ある役所の人事異動を報道した。その異動の中で、特に一人の役人を引き抜いてほめちぎったが、その役人は、今度その役所の外局の長官におさまったわけである。ところでその人物評論によると、この新長官というのは、早うまれで、小学校は五年まで、中学も四年修了、一中、一高、東大と進んだお定まりの秀才コースで、本年四十五歳の典型的な出世型というのである。これを読んで"世にもまれなる秀才かな"と実は最初大いに感心させられたのであるが、その直後、この役所の内部事情に通じている人にこの新長官のことを聞いてみたら、いわく「あれは省内でも馬鹿で通っているよ」と意外なる返事である。

秀才をとらえて馬鹿とはこれいかに、というわけで、そのわけを聞いてみると「いくら早うまれで、小学校や中学校を一年ずつ飛び越えて、一高、東大と進んでも、肝心の人間としての幅や深みが加わらなければ、腕のいゝ職人と同じことです。ごらんなさい、同期の愛知揆一は大臣になるし、河野はもう次官をつとめ上げて他へ転出した。平田が今度は次官で、この男だけが本流をはずれている。秀才を鼻にぶら下げて、あまり利口でない証拠です」と、その人はなかなか手きびしい。

省内人事の本流を歩くかどうかで、秀才か否かをきめることは、もとより行きすぎであろう。しかしこの話を聞いているうちに、ふとこれも或る役所の秀才課長のことが思い出された。その男は課長をつれて地方視察に出かけた時、汽車の中で、その課長が雑誌を読もうとした瞬間、とたんに声をかけた。「オイ、その雑誌は何だね」課長いわく「ハイ、文芸春秋です」その局長、言葉を改めて「執務時間中だ、やめ給え」うそみたいな話だが、ほんとにあったことである。秀才馬鹿というものはコワイものだ。(舟)

"新たな雰囲氣で"

ア大統領声明 巨頭会談後の対ソ交渉

【ワシントン二十五日発ロイター=共同】アイゼンハワー米大統領は二十五日議会の共和、民主両党首脳をホワイト ハウスに招いて巨頭会談について報告「将来の対ソ交渉はこれまでと全く違うふんい気の中に行われるだろう」と語り、ソ連第一の指導者としてフルシチョフ共産党第一書記の名をあげた。この報告は「希望にあふれた報告」だったといわれる。

ア大統領はまた、共和党右派の間で批判の対象になっている「軍事情報交換」についての巨頭会談での米大統領の劇的提案に関し、ソ連がこの提案を受諾するとは期待していないと言明した。

全米に報告放送

【ワシントン二十五日発UP=共同】アイゼンハワー米大統領は二十五日夜ラジオ、テレビを通じ米国民にたいし巨頭会談について報告"国際問題解決について悲観的になってはならない"と警告するとともに米国民に自負心と正義を要望した。

英女王もご覧

アスコット競馬始る

英国の年中行事、恒例のアスコット競馬は伝統的に一種のファッション・ショウとして有名であるが初日の七月十二日にはエリザベス英女王も母君エリザベス皇太后と共に観覧席に姿を見せられ、盛夏のファッションとしては熱狂するスタンドにけんを競う日除けのツバ広帽子がとくに衆目をひいた。



【写真は競馬場にお着きのエリザベス英女王(左)と皇太后】(CPP=共同)

市況 堅調を持続

特に材料はないが、きのうの好調な地合をうけて大証券筋は引続き優良雑株に買の手を入れているので、市況は閑散のうちにも堅調を持続している。特定株は売方の買戻しで一巡からふたたび人気離散して一―二円幅の小動きに終始し、おおむね前日値付近に保合つた。雑株は売物うすかたがた四社の食品、石油、化学、金ヘン株買が継続される一方出遅れの電力株の一角にも循環買が入り総じて小確りの場面であつた。

▽高い株=京王七円、合糖六円、東急、東京興業、積水化、北海道電力四円
▽安い株=東宝八円

東京株式仲値

新株落△配当落 (26日前場終値)

特定銘柄		信越化	80	倉レ	94	小西六	116
東海上	253	東高圧	124	旭化成	349	カボン	43
郵船	57	昭電工	88	山陽ベ	104	三井物	137
新三菱	81	日本曹	76	日本ベ	99	第一物	98
日清紡	262	旭電化	—	国策ベ	108	白木屋	—
味の素	270	三菱造	82	東北ベ	122	高島屋	83
三越	257	三井造	118	大東紡	97	日活	70
三菱地	481	三菱重	60	商船	44	松竹	198
平和不	175	石川重	88	三井船	46	東宝	1330
三井金	110	新潟工	119	飯野海	43	大映	179
三菱金	85	東洋ベ	103	西武	350	日本粉	129
日鉱	81	日立造	47	藤田興	210	日清粉	157
住友金	91	浦賀	47	東京ガ	68	日本ビ	156
三菱鉱	40	日平	20	東電	488	朝日ビ	179
古河鉱	60	古河電	68	日銀	—	キリン	195
同和鉱	114	日立製	71	東銀	59	宝酒造	93
住友炭	53	東芝	69	三井銀	—	台糖	240
三井山	53	三菱電	81	富士銀	88	明糖	120
北海炭	50	小松	50	日証金	83	甜菜糖	127
東邦亜	63	日本光	135	安田火	112	野田醤	187
帝石	73	キヤノ	144	大正海	94	森永	284
日石	100	東京光	35	住友海	80	明菓	182
昭和石	104	東洋紡	137	千代田	73	日水産	85
東燃	115	鐘紡	114	鋼管	72	昭和産	102
三菱石	124	富士紡	107	日製鋼	67	東洋醸	68
大協石	118	大日紡	80	八幡鉄	52	合同酒	115
日東化	78	日東紡	55	富士鉄	49	三楽	93
日産化	77	片倉	35	神戸鋼	52	大阪糖	145
三菱化	104	東邦レ	98	日特鋼	108	王子紙	216
三井化	116	帝麻	51	日軽金	185	十条紙	226
協和醗	111	中繊	51	日金工	—	本州紙	87
東合成	118	帝人	132	日セメ	130	三菱紙	87
三共薬	145	東洋レ	174	磐城セ	232	北越紙	56
		三菱レ	127	小野田	78	三井不	775
				横浜ゴ	162	三井倉	71
				旭硝子	144	渋沢倉	—
				富士写	128	東洋埠	168

ないがい川柳

吉田林司選

災難を写して稼ぐカメラマン　千代田 南波
慕い過ぎ子弟のワクを越して泣き　横浜・市野 三七
川開き物干台もひと稼ぎ　市川 次郎長
整形の鼻にそぐわぬ脚の線　板橋 阿伊代
サングラス都鄙の夏を留守にする　足立 矢吹日進
汗臭くなって娼婦は次の客　千葉 松崎光水
【賞】新型の水着に惜しい足が生え　目黒 山下胡水

内外抄

総評大会、きょうおにぎやかに幕開く。高野と岩井のチャンバラの場が一番の呼びもの。

◇

米と中共とのジュネーヴ会談の報に目を剥くと、実は飛行士の釈放交渉。「ソロリソロリ参ろう」

◇

杉原長官の不信任案否決、近ごろの不信任案はかえってジュシ(豎子)をして名をなさしめる。

◇

米国関係のわが戦犯が来月中にも大量釈放されると耳よりなニュース。八月六日に願いたし。

◇

春の宿と懇ろになり転勤になった巡査部長がある。署の方は見て見ぬ振りができなんだとさ。

青春無宿 (78)

大林清 作　下高原健二 画

父と子 (九)

「神戸精器の神戸の寮というのは一つしかないんですか」

次郎は椅子にかけると、挨拶をぬきにしてきいた。

「ええ、神戸には一ヵ所ですな、三の宮の付近にありますよ」

早川は気易く答えた。

「そこの マネジャーをやっていた鳴海貞子という人をご存じありませんか」

早川をみつめる次郎の眼の光が強くなった。

「ほう鳴海さんをあなた知っておいでなんですか」

今度は、早川の方が逆に驚いた様子だった。

「ええ、その人のことについてうかがいたいんですが、その人はもう寮にはいませんか」

「この春頃やめましたよ、なかなかしっかりしたいい人だったんで会社では惜しがったんですが、一身上の都合ということでしてね。たぶん東京へ出て来ていると思いますよ」

日比谷公園の松本楼で、須田から聞いた話と符節を合せる言葉だった。

「東京のどこへ来ているか、ご存じないでしょうか」

次郎はせきこみ気味になったが、その期待を裏切って、早川は首をふった。

「わからんですなァ、東京へ帰りたいということは、前から再三云ってましたがね。何でも昔は、赤坂あたりから芸者で出ていたこともあるとかで、話の面白いさばけた人でしたよ。何かまた水商売のようなことでもやってるんじゃないですか、しかしどうしてあなた鳴海さんのことをそんなにお知りになりたいんです」



次郎は失望した。それだけなら今までにも知っていることだった。

「ちょっと事情がありまして、その人の居どころを突きとめたいんですが、それ以上のことはおわかりになりませんか」

「そうですなァ。会社の人事課へでも問合せれば、或は行先がわかるかも知れません」

早川は少し面倒になったようにそう云ってから、

「そう〳〵、何でも息子が一人あるとか云ってましたから、そこへでも行ったんじゃないんですか」

次郎は相手の視線から、思わず顔をそむけた。息子というのは自分のことにちがいない。正常な結婚をしてから出来た子だったら、別れて暮していたのはおかしい。

「何なら会社の方へついでの時に問合せて、ここのママさんにでも報らせておきましょう」

早川はそれでこの話を打切りたい素振りを見せた。

「よろしくお願いします、ありがとうございました」

会社へ問い合せるのだったら、何も初対面のこの男を煩わすことはない。須田にたのめばこと足りるのだし、それが一番いい方法だった。

次郎は折角の意気込みをくじかれると、急に全身の力の抜けた気持で、早川の席を立った。

「もう済みましたか、済んだら出かけましょう」

ヴァルマンが待ちかねたように立ちあがった。

「今夜は兆子さんの場所を知っていますから、これからそこへ車を乗りつけましょう」

谷中墓地 試胆会

凝ったり本モノも出演 テモ涼しき一夜

お盆も過ぎて地獄の釜もフタを閉じたこのごろ、ところも名題の谷中墓地近く、鉄舟寺全生庵を会場に、すさまじい？趣向を凝らした怪談会がこのほど催された。これは日ごろ肝ッ玉の達者？なメン〱が同好の士に呼びかけて毎年行ってきた「怪談夜ばなし会」で、マンボ狂時代に幽霊なんどがあるものかないものか、そんな詮索はともかく、水銀柱もうなぎのぼりの真夏の一夜を理屈抜きのスリルでたのしもうとの寸法。さて如何なる幽霊が現れ出ましたことやら、谷中のウシミツ刻を忍び足で訪ねてみた。



コワイものを見ると笑い出すという不思議な 心理を証明する の図



足もとがズルリ、上から白いものがフワリ、驚いた顔の方がスゴイ



こんな河童のお化けでも、場所が場所 なら大の男が キャーッ

○…さッと通り雨が上野の杜を一ハケ濡らしたあと、本当に通り魔でも現れそうな妙に風の生温い夜十時過ぎ、谷中団子坂下にボッと青白い灯がともる。幽霊行燈というやつ、これが会場の目印だった。本堂に上ると、周囲一ぱいお化けのオンパレード、といってもこれは同庵が年に一度しか公開しない初代広重、応挙などの筆になる幽霊図五十幀。夜風に吹かれてその幽霊図が千差万態、真に迫ったポーズでユラリユラリと気分をそゝるなか、オッカナびっくりの同好者が若い女性もまじえて早くも三、四十人集る。江戸川乱歩、城昌幸氏はじめ挿絵の中一彌氏、落語の痴楽さんの顔などがみえた。やがて堂内の灯りが一せいに消されて、あとは大蠟燭の灯影が一つ住持の読経に始まり、小金井芦洲師の怪談一席、参会者同士〝幽霊みたり聞いたり〟の体験談披露に移る。これが全部ホントの話だから、話す方も身にしみてこわそうなら、聞く方も生温い風を気にしながら、首をすくめて聞き入る。

○…話に夜も更けて時刻は午前一時過ぎ、いよ〱本番の墓場めぐり…「コワイものは何も仕組んでいません」と、世話人の口上がかえって逆効果で、婦人方はもう気もそゞろだ。草履にはき替え、二、三分おきに一人ずつ本堂傍から墓場へ吸い込まれていく。まずトップは〝幽霊なん てコワクない〟とのたまう乱歩先生だ。第一のコースはハリボテの河童がニューッ、結構ゾッとさせられるのだが乱歩先生はヽヽッと笑っただけ。つぎにモミがらを敷いた落し穴、これに落ち込んでさすがアッと悲鳴をあげる。熊の皮を丸太にかぶせたやつが現われる。暗ヤミで手さぐりする感触がオゾ気を誘う。とたんに顔へ得態の知れぬものがかぶさってきた。クモの巣でもなくよく見るとゴムの細糸が無数に吊してある。払っても払っても身体にまつわるゴム糸の雨を掻き分けて、第五コース辺りにくると一きわ大きい墓石の前に香煙がゆらめいて、ドクロが目をむいている。本物のドクロだそうだ。乱歩先生はこゝでもフフッと笑っただけだったが、このごろ、第二陣、第三陣があちらこちらの墓陰でキャッとかワッとか適当に悲鳴をあげておどろかされている。最初から最後まで目をつむって通り抜けるのは娘さん連れ。〝ヘッヘッヘッ〟いきなり木立の中から陰にこもった笑い声…痴楽さんの特別音響効果だ。不思議なもので、人間コワイと逆に笑いをそゝられるものらしい。コワサをごま化す心理だろうか。折角の試胆会が最高潮に達すると、そんな笑いや悲鳴が混乱して、静か なるべき墓 場も何とも はやお賑 やかな限 り「ワーッびっくりした…」幽霊声色役の痴楽さんがアベコベに驚かされる一幕もあってこの怪談会、夜の明けるまでア レコレと胆を冷 やし続け、まずは効果百％のうちにチョン。

怪談十話

ゾッとするはなし

⑥

十三階段の秘密

森 操

「先生、決して宿を代えないと約束して下さい」「もちろんだよ。こんなにご馳走になったんでは無下に立ち去るわけにもいかないわな」「じゃお願いします。今晩どんなことがあってもですよ。とにかくこれだけは最初に申し上げておかないと…」宿屋の主人はそういうとそゝくさと消えて行った。

明治二十五年、北海道小樽で興行したときのこと。一行は川上音次郎、柴田善太郎、寺島倉次郎ら二十数名であった。「おい、この宿屋は幽霊でもでるというのかい」「まさか」同室の柴田とわたしはこんなことをいいながら、旅の疲れでグッスリ寝こんでしまった。

その夜半、廊下を隔てた部屋に寝ていた寺島が飛び込んできた。

「おい大変だ。幽霊がでる」「そんな馬鹿な。みたのか？」「いいや」「じゃどうして幽霊と判ったんだ」

「それがこうなんだ。おれがさっき便所にいって、さて寝ようとすると、だれか階段を上ってくるのだ。親父がこんな時間に上ってくるわけもないがと思っていると、やがてシュッシュッという廊下を歩く足音に変り髪がサラサラ…サラサラと障子に当るんだ。本当だよ、きっと幽霊だ」寺島はすっかり興奮し、シドロモドロでそういうのだった。

ところでこの音は寺島ばかりでなく、川上たちの部屋でも聞いたといい出すものがあり、宿中テンヤワンヤの大騒動。とうとう みんな 夜を明ししてしまった。翌朝になると、みな荷物をまとめて他の宿屋に移ってしまったが、わたしと柴田は主人と約束した手前、まさか逃げ出すわけにもいかず、いよいよ幽霊と対決する決心を固めた。その夜舞台がハネると、わたしは手ごろの棍棒を探して部屋に持込み、柴田と廊下を隔てた部屋にそれぞれ陣取った。まず一眠りしようと思っても眠れたものでない。そこでランプを消した暗闇の中で、アグラをかき、棍棒を抱きしめて「いでや見参」と幽霊の出現を待っていた。

丁度十二時を打ったところ、ギユッと下の廊下を踏みしめる音がしてきた。「きたッ！」わたしは障子のスキ間に顔を寄せながら棍棒を力一杯握りしめた。勿論廊下は真暗で何もみえないが、人の気配が狭い隙間を通して感じられる。「ギュ…ギュ…」静かに一段、一段階段を踏みしめる音。その階段は十三段だ。「ギュ…」「一つ…」わたしは心の中で音の度に一つ二つと数えていた。同時に心臓の音も自分の耳に聞えるくらいドキッ、ドキッと打っている。「十三」そう心の中でいったのと「柴田」と呼んで飛び出したと同時に「ガッ」と右手の棍棒を力一杯振り下した…。が棍棒は闇を空しく切っただけだった。「おかしいな」「うん、おかしい。俺も今の足音は確かに聞いたぞ」

同時に飛出してきた柴田の目は血走っていた。幽霊との血闘は これで終った が、主人にきくと「実はあれは女房なのです」といわれたときはゾッとした。彼女は淫売婦にまでなって金を溜めこの旅館を建てたのだが、主人は金ができると二号に狂い正妻と二号がその旅館に 同居する状態だった。

ある夜、暗い階段で上から下りて来た二号と、上ろうとする妻が途中でブツかり、妻の方が階段を転げ落ちたが、臨月だった妻はそのまゝ悶絶してしまったのだった。「成仏し切れない女房の魂があゝしてさまよい出ているのでしょう」宿の主人はそういって目を伏せた。

（元新派俳優）え・小田明男



あすの運勢

＝七月二十七日＝

高島 象山

▲一月生＝物事自由に進展し目的叶い開運成功あり開業移転結婚吉

▲二月生＝物事不如意にして不結果を生じ易い他人の世話事は禁物

▲三月生＝秩序が乱れ心気は動揺し災禍を求む身内親類に病気不和

▲四月生＝何事も順調にして利達栄昌あり積極的努力よし開業よし

▲五月生＝依然として曇天の如く物事進まず不満不平起り易し注意

▲六月生＝進退を誤り性急にして失敗を招く或は他人より迷惑懸る

▲七月生＝次第と運気立ち順調に進展する商売取引円滑なり開業吉

▲八月生＝物事に疑心暗鬼を生じ自ら失敗を招来し易い明瞭に努力

▲九月生＝怠慢より失態を生じ鬱悩で事を破る慎重に進退す可き也

▲十月生＝堅忍不抜の精神を以て一意努力すれば目的順調に栄進す

▲十一月生＝何事も軽挙妄動して失敗あり或は他動的不意の災い有

▲十二月生＝物事不振で四面楚歌の声をあびるなり病気盗難を注意

風流世界譚

…（フランス）…

フランス人は中々表面は女房に親切者が多く、女房は何やかと亭主にものを頼みます。アンリー君はフランス国鉄の運転手勤めの帰りにはいつも女房に頼まれたものをぶらさげて来ます。今日も出勤の時、ブラジャーを買って来てくれといわれサイズはと聞くとグイと豊満な両の乳房をつき出したので、アンリー君、掌で大体の大きさを測って洋品店に出掛けました。ついでにキャップを買う段になり「サイズは？」と店員に聞かれ待ってましたとばかりグイと掌を拡げてつき出しますと、店員「相当な大きさですね」と思い入れよろしく「それで乳首の大きさは？」「乳首？」ハタと困ったアンリー君、急にニヤニヤして自分の親指を嘗めて人さし指を嘗めて首をふり、中指を嘗めてちがうという表情、やがて薬指を嘗めると何かに思い当ったらしく破顔一笑、薬指をつき出して大声でいいました。「これだ！ これ位の大きさだ！」

（海）（外）（特）（信）

嫉妬に無情

外国人は十三という数を忌み嫌う。しかし英国で今世紀に入って第十三番目の女の死刑が発表された。第十二番目の女性は今から三十二年前に処刑された養女殺しの一女性だが、十三番目はルース・エリス（写真）という今年二十八歳の子持ちのモデル女。彼女は夫と離婚したが、二十五歳になるオートバイ競争の選手のダヴィッド・ブレークレーという新らしい恋人が他に二人の女を作ったので、嫉妬の余り射殺したのだった。彼女は本年八月三日に処刑されるが、裁判官は「嫉妬は刑の軽減に何んの力もない」と判決を下した。



モダン歳々記

東海道四谷怪談

文政八年七月二十七日、江戸中村座で四世鶴屋南北作のこのお化け芝居が初演された。南北はグロやサドを仕組む名人だが、この中の戸板返しや蛇山の亡霊の場のトリックの妙は当時の観客を感嘆させ、九月十五日までのロング・ランに成功し、ヒロインお岩の役は尾上家のお家の芸となった。

塩谷家の浪人民谷伊右衛門は放蕩に身を持ち崩し、舅の四谷左門に妻のお岩との離縁を迫られたので、これを暗討にした。しかし隣家の高師直の家来伊藤家の娘お梅に惚れられ、出入りの按摩宅悦の差金でお岩に毒薬を盛り、お岩は無残な面相となり悶死する。小汐田又之丞の仲間小仏小平は主人の病気を治そうと奇薬ソーキセイを盗んで伊右衛門に捕えられ、お岩と不義を働いた者として斬られ、戸板にくくられて川へ流される。その祟りでお梅は嫁入りしてきたが、幽霊と見誤られ伊右衛門に殺される。お岩の妹お袖は亭主の与茂七と別れ〱になり、鰻かきの直助権兵衛と同棲していたが、そこへ与茂七がきて二人の刃に倒れる。が、この直助はお袖の実兄だった。伊右衛門もお岩の亡霊に悩まされ、遂に蛇山の庵室で悶絶するという大因果譚である。（鮭）

夏の味

うなぎ

◉…うだる暑さで水銀柱が昇ると、反射的に食欲が低下する。体中の感覚を総動員しても食物がうまくないときだ。特に嗅覚を刺激する食品が欲しくなり、香辛料が必要になるのもこのころであろう。土用丑の日ともなれば涼しい料理でもないのに鰻の蒲焼がもてはやされるから不思議なものである。

◉…石麻呂にわれもの申す夏痩せによしというものぞうなぎとりめせ。と大伴家持が痩せぎす石麻呂クンに歌を贈って鰻の薬効をたたえている。栄養補強食として当時は唯一のものだったのであろう。鰻のうまいのはなにも蒲焼とは限らない。タレをつけずに白焼にして辛子醤油でいける。また、蒲焼を茶碗に入れて、熱燗の酒を注ぎ、蓋をしてその蓋を向うへずらして飲むうなぎ酒は思うだけでもヨダレがでる。

◉…更にまた、ご飯の上に切りごま（煎ったごまをまな板の上でこまかく刻んだもの）をふりかけ蒲焼の小串をのせて、香りのいい緑茶を注ぎ蓋をしてしばらくおいたウナ茶の味は素敵である。鰻のきもの白焼きを塩味で食うのはおつなものだが、この頃タラ腹くわせてくれる店がないので残念である。（品川居）

（え・島村舜児）



ラジオとテレビ

26日（火）

	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ❶子供のシンブン❷ちえのポスト 柳内達生ほか 25 物語「オテナの塔」	05 英語会話◇きょうの市況 30 三球受信機の組立 40 山の科学 大井技官	10 東京こぼれ話 桂小金治 15 スイート・コンサート 25 ドレミファゲーム（芥川）	00 劇「少年宮本武蔵」 10 劇「すずらん太郎」 25 東京マンボオーケストラ	00 ポツポちゃん物語 15 少年探偵団 真杉和夫他 30 歌謡百貨店 小畑実ほか
7	15 録音ニュース 30 話の泉 渡辺紳一郎 堀内敬三 サトウ・ハチロー 小絲源太郎 大田黒元雄	00 名曲鑑賞 スペイン交響曲 ラロー・作曲 30 座談会「現代に生きる農村青年の悩みと願い」	10 録音ニュース 20 歌うオルガン 松沢宏 30 ❶浪曲コメディ 糸路洋児・夢路❷落語 円遊	00 録音ニュース 10 歌謡曲 林伊佐緒ほか 30 お国自慢のど自慢（最終回決勝戦の巻）笠置シヅ子	00 ラジオ夕刊（耳の新聞） 20 花のステージ 司みどり 30 歌謡クイズ 司会・久保田勝 ゲスト・菅原ツヅ子
8	00 青空の仲間「天の川の巻」榎本健一 藤金四郎ほか 30 民謡をたずねて「出雲」福島寿声 大社捨子ほか	05 きょうの国会から 20 生活の中の伝統について 金森徳次郎 森田たま 伊藤昇 石田アヤ 大宅歩他	00 剣に生きる人々「伊藤一刀斎」東野英治郎ほか 30 歌の風車 林伊佐緒 久保幸江 白根一男ほか	00 家庭音楽会 浅倉アナ 三味線豊吉 高山正彦ほか 30 連続講談「徳川家康」第六十一回 宝井馬琴	00 今週の花嫁花婿 三木鮎郎 小泉博 月丘千秋 30 ❶俗曲 久保幸江❷落語「厩火事」古今亭志ん生
9	05 ニュース解説 平沢和重 15 劇「源義経・弓鳴りの巻」半四郎 喜章ほか 40 二つの遭難	00 音楽のおくりもの 歌劇「セヴィリヤの理髪師」宮本正 牧三都子 立川澄人 大橋国一ほか 二期会合唱団	10 浪曲天狗道場 前田勝之助 相模太郎 池谷アナ 40 劇「ホガラカさん」野添ひとみ 藤夕起子ほか	00 歌うバースデイプレゼント 楠トシエ 千葉信男他 30 落語❶交番日記 三遊亭円右❷旅行会 桂枝太郎	00 講談「柳生二蓋笠」一竜斎貞丈 30 劇「吹けよ川風」伴淳三郎 奈良岡朋子ほか
10	15 アルゼンチン音楽集 40 納涼お国めぐり❶最上川❷怪談甲州路	00 ❶初級国語 鳥山榛名❷上級解析 山崎三郎 45 気象通報	05 きょうのニュースから 15 劇「彼と小猿七之助」 30 「フインガルの洞窟」他	00 大学受験夏季実力錬成講座 和文英訳 JBハリス 30 解析（Ⅱ）戸田清	00 劇「南無三宝」本郷秀雄 35 映画劇「下郎の首」田崎潤 嵯峨三智子 小沢栄他
11	10 日ソ交渉を語る松本俊一 20 人の名と雅号 服部嘉香	05 新商店読本 岡田徹 20 微熱と小児結核村上勝美	10 劇「高速道路の男」永井智雄 菅井きん 稲葉義男	00 夏の夜話「ビールの泡」 20 「葬り去られた売春法案」	00 スポーツ・カレンダー 15 三味線の手ほどき

テレビ

★NHK★ ◆6・00 成田為三童謡集◆6・30 カメラ担いで「水銀柱は三十五度」石黒敬七◆7・10 中日球場からプロ野球実況「中日―巨人」【中止の場合】大阪球場から「南海―毎日」◆9・00 ニュースと解説

★NTV★ ◆6・00 劇「私のお母さん」橘薫 星野美代子ほか◆6・30 「都民の皆様へ」安井誠一郎◆6・50 カメラ探訪「陸中国立公園」◆7・30 全日本ミドル級タイトルマツチ辰巳八郎（10R）横山守ほか

★KR★ ◆6・00 映画「怒涛の男」漫画「天の岩戸」◆7・00 中日球場からプロ野球実況「中日―巨人」【中止の場合】映画「写真家ウエストン」「森に生きる人々」ほか◆9・00 毎日TVニュース・週間海外ニュース

あすの番組

7・45 朝の訪問 榛原英治	8・00 気胸をやる人への注意	8・20 ラジオ・スケツチ	8・25 おしやべりレデイ	8・00 劇「サザエさん」
8・05 名演奏家の時間	8・30 トウリーナの幻想舞曲	9・45 婦人と経済（長谷川）	9・30 劇「青春のあるところ」	9・00 お早ようブーちゃん
8・30 私の銷夏法 志ん生	9・00 きょうのラジオクラブ	10・10 名作「若き日の悩み」	10・40 劇「君ひとすじに」	10・00 やりくりチヨ子さん
9・15 海辺の楽しい食事	10・00 楽聖ベートーヴエン	11・15「母のない子」夏川静江	11・35 連続劇「東京の人」	11・00 連続劇「悦ちゃん」
10・05 けさの話題 鈴木明	11・00 文章の味わい方	12・15 ワゴン・マスターズ	12・00 活動から映画へ（山野）	12・00 落語「彼女の弟」梅橋
11・15 ジヨン万次郎漂流記	11・30 教師の実践記録	1・30 劇「機台のかげに」	1・00 芸界裏話◇ラジオ寄席	1・00 連続劇「息子の縁談」

東海毒婦伝

青とかげ （19）

野沢 純
土端 一美 画

夏芝居（六）

古薩摩と、いんどうの茶碗。床の軸は半切で、芭蕉の一句。

蛸壺や　はかなき　夢を　夏の月

とある。
静かに坐して、袱紗さばきや茶せんとおしもさわやかに、やがて一服。
「どうぞー」と差し出す。
その間に早瀬は、高坏に盛られた菓子を、懐紙に受けて尋常に口へ運ぶ。
あい曳どころか、まことに以て窮屈な一と場である。
茶が終ってから、酒が出た。が、早瀬は深くたしなまない。
「若い時は、酒色を慎しめ」とつね日頃、東湖先生から戒められてもいる。
よって軽く二、三杯。
これという話しもあまり交さないうちに、やがて近くの木母寺が打ち出す入相の鐘の音に、
「おゝー」
と我に返った如く、
「あまりおそくなっては、うちで心配なされよう。身共も、これから油堀へ立ち戻ります。そこまで送って参りましょう」
と早くも座を立つ。
まこと芭蕉の句の如く、（はかなき夢を夏の月）
見果てぬ夢の、はかなさを跡にのこして、共に連れ立つ夕まぐれ。
向島から油堀まで、船の帰り略。
早瀬主水と、おりうの二人が、今し「萬の寮」から肩を並べて立ち出でた時、筋かい向うの、割烹宿の二階。目かくし窓から、長襦袢に伊達巻姿のしどけなさで、ふと見おろした女がある。おりうの姿に気がついて、
（おや？）
とばかりに目をみはった。
その儘じっと、穴のあく程…。



襖の陰に夜具が敷かれてあろうとは、さすがにおりうも気がつかなかった。
こゝへ来て、はじめてそれと目に映ったのである。
心きいた女中の仕業か―それにしても、おぼこ娘のおりうにとって、その場のけしきはあまりにも、むきつけ であり 過ぎた。
謎を含めて、深すぎた。
思わず襖をハタリと閉めたが、頬は赤くなるばかり…。
わずかなしじまを、聞えて来るのは松籟の音。
しん〱と、炉に湯はたぎる。心もたぎる。
たぎる心を落着けようとして、おりうはお茶の支度にかゝった。
風炉さきは、伊予竹の細身籬を縁どった狩野の屏絵。
志野の水差。
笹蟹の蓋置。
青磁の香合。

帽子は近代人のエチケット

上野 松坂屋前「クラウン帽子店」

帽子は近代人のエチケットといわれていながら案外無帽が多いのはどうしたことか。冬は寒々しし、夏は暑苦しい無帽は、戦後十年、街も衣服もそれなりに整った今日もうやめてもいい現象の一つだろう。

特に今夏は日本脳炎の最流行期にあたっているとか。炎天下の炎えるような太陽に、頭もナマでさらしているなどはもってのほか。終戦直後の何もかも高い時代なら別のハナシだが、例えば上野松坂屋前の「クラウン帽子店」に行けば、登山帽から高級パナマ迄去年より三割安で売ってくれる。パナマなら五百円からという格安さだ。勿論最高南米産一万五千円迄品は豊富に揃っているが、普通品千円から二千円前後を選んで賢くが無難だろう。クラウン帽子店には奈良の大仏さま用の日本一という大帽子が店頭にかかっているからすぐ判る。



サラリーマンの避暑地

優秀な冷房で涼しい「れだ」

〝東京の軽井沢〟として一杯60円の珈琲では安すぎる避暑地でもあるせて愛婦を振り撒けば、若いサラリーマンにとっては夢の花園。酷暑に向かっての特別サービスとして今迄ファンを喜ばせたのは申訳ないと、外気との差十度という最新式の冷房 装置 をとりつけたサロン喫茶が現われたかと思うと今度はマンボ喫茶である。静かに珈琲でもすすりながら、段々少なくなって行くのは淋しい限りだ。しかし、そうした店が絶無なわけではない。銀座二丁目五番地、といっても判りにくいが実業の日本社と並木通りの中間小路をちょっと入った所にある「れだ」といえば、それとうなずくファンも多い。清潔で発らつとしたウエイトレスが八等身の美しい姿態を泳がせ、二階は最近銀座娘のタマリとして利用されているとか。ウエイトレスにも負けず劣らぬ美しい令嬢が文人気の的だ。

東京唯一の ドライブクラブ

港区芝神谷町「日の出オートクラブ」

一、二台のチャチなクラブと違い都内でも有数の大修理工場を背景に完全整備された最新型高級車が多数常備され、入会すれば自動車の購入整備管理その他一切を無料で相談出来る自動車マニアのオアシスが芝神谷町電停前の「日之出オートクラブ」（電（43）四三三一・六〇六八）である。

一般のドライブと違い僅少の出資金で永久に車が利用出来、それも会をやめる時は返金する東京唯一の純然たるクラブ組織。八月一日より年に一度の割引会費二割引サービスをしているから今が入会のチャンスである。

山に海に楽しい行楽は何よりも整備された車を選ぶべきで車輌保険、乗務員傷害保険賠償保険迄入っており絶対安心して高級外車が採用出来る東京唯一のクラブである。

巻狩焼の由來と味

…鎌倉時代を今に伝えた堀川氏…

「巻狩焼」は、鞍吉の成吉思汗焼と並んで、世界でも最も古い料理の一つとして数えられている。起源は遠く鎌倉時代、狩りが盛んな頃の野戦料理である。

×××　×××

当時はあり合わせの鉄板で野の花や草と共に焼いて食べたのは主として野兎や猪の肉に限られていたが、神田多町一丁目、神田 小学校 北角の「ゑびす」という肉屋のアルジやはり狩り好きだという堀川正勝氏が、これを牛肉に応用したのが、即ち今日ハヤッている巻狩焼である

×××　×××

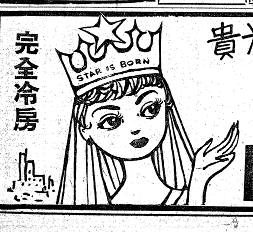
焼き方は古来のそれだがこれに配する野菜を研究、30年もかかって創り上げた独得のタレなどで、野趣あるうちに何ともいえぬ風味を伝え、しかも肉本来の栄養は決して損なわれていないという。料理としてはまず完璧に近いものである。一人前二百五十円ぐらいで食べられる点でもすき焼より遥かに安い。

×××　×××

「ゑびす」には30人位までなら宴会も出来る設備もあり、牛肉は本場直送の伊勢、江州産。恋人や家族ずれ、宴会や商談にどのようにも利用出来る店である電話（25）二六八七・〇八五二番。







両手足をしばられ 飲屋の女将殺さる

府中で 金ほしさ、犯人は地元の不良か

二十六日午前六時二十分ごろ都下府中市五三二七飲食店"ことぶきや"方の玄関が開いたままになっているので、不審に思った隣家の新聞販売店佐々木幸太郎さんがのぞいたところ、女将の大橋しづえさん(五四)が両手両足を縛られ土間で死んでいるのを発見、府中署に届出た。警視庁捜査一課、鑑識課の係官が現場に急行、府中署に捜査本部を設け綱川主任係りで捜査を開始した。

しづえさん宅は京王線分倍河原駅近くにあり、終電車の通ったあとも午前一時ごろまで人通りのあるところで、隣家の自転車預り所佐々木徳造さん(四三)の話では、二十六日の午前一時ごろまで客との話声がしており、ノレンがはずされているところから犯行時間はけさ午前一時以後とみられる。

しづえさんは四、五年前から現在の場所で飲屋をはじめ、二三年前から街の不良が出入していたが、人に恨みを買うようなことはなくおとなしい性格だった。

高校三年生の一人娘京子さん(一八)はしづえさんの叔母の家に預けてあり、ふだんは"ことぶきや"に一人住いをしていたが、小金を貯めていたという評判で、店内にはビールを飲んだコップ三つが置いてあり、相当物色した形跡と、裏口付近に二十五円が散らばっていたなどの点から、犯人は同家の内情に通じた地元の不良の金欲しさからの犯行とみて捜査している。

娘九人売飛ばす 鬼婆三人組挙る

世田谷署では二十六日までに世田谷区太子堂三九五無職神田みさを(六五)、同区三宿二二五同飯塚ます(五五)埼玉県秩父市本町一五四六料亭経営者榊原たね(六三)の三名を児童福祉法と職安法違反容疑で検挙した。

調べでは神田と飯塚の両名は世田谷区内の貧困家庭の子女(十四歳から二十三歳)の素人娘ばかり九名を「料亭でおしゃくするんだから」と言葉巧みにだまし榊原方に一人二千円から三千円の手数料で売りとばし榊原はこれらの娘たちに強制的に売春させていた。

意見されて放火 酒癖の悪い男逮捕

月島署では二十五日夜中央区月島通り一二の六日雇人夫加瀬猪三郎(三七)を放火容疑で検挙した。調べでは加瀬はふだんから酒癖がわるく二十五日夜も帰宅して乱暴を働くので加瀬の義兄同区月島通り一二の八会社員林清治さん(三六)がたしなめ顔面をなぐったのを根にもち、同夜七時五十分ごろ林さんの都営住宅に押かけ新聞紙で放火、畳、襖、衣類などを半焼したもの。

学生から喝取

二十五日夜十時二十分ごろ豊島区堀ノ内三〇先で同区池袋八の二三二七学生山本永年君(一九)は、前からきた若いポロシャツ下駄ばき不良風の四人連れにインネンをつけられ、持っていたカメラ、腕時計(時価四万六千円)を奪われたと池袋署に届出た。

不正牛乳ヤリ玉 無消毒で売る

都衛生局は葛飾区亀有二の九〇六明治牛乳亀有販売店店主田村賢次(四〇)を食品衛生法違反で二十八日から八月二日まで一週間の営業停止処分を命じた。

調べによると同店は千葉県市川市国府台付近から原料牛乳を毎日五升ずつ買付け、消毒もしないで明治牛乳のビンに詰め、販売していたもの。

人違い、刺殺さる 中野 やくざ喧嘩のソバ杖

二十六日午前二時四十分ごろ国電中野駅前の中野区駅前町八先三菱銀行中野支店前、屋台そば屋で酒を飲んでいた同町七菓子商玉川屋店員高橋和平さん(三八)は、隣りで飲んでいた同区江古田三の二二〇五うなぎ屋斎田静男(四二)にいきなり、うなぎ用の包丁で腹部を刺され、中野組合病院に収容されたが午前五時ごろ出血多量で死亡した。

中野署で調べているが同夜高橋さんは斎田の隣りで飲んでいた折、酔った斎田がたまたま通りかかった同区本町通り四の一八無職「がん坊」こと清水孝一(三四)と、同区城山町三〇無職「坊や」こと阿部敬一(三二)の二人を見つけ「中野のオオカミが通る」と清水にインネンをつけたことから清水と阿部が店に入ってきて斎田と喧嘩となり斎田は二人に袋だたきにあい、頭、顔に全治一ヵ月の重傷を負わされたのでかくし持ったうなぎ用の包丁で左隣にいた高橋さんを清水と間違え刺したものらしい。

清水、阿部の二人も腕に全治二週間の傷を負い、斎田も同病院に収容されているので、同署では三人の傷がなおり次第、斎田を傷害致死容疑、清水と阿部の二人を暴行傷害容疑で取調べるといっている。なお清水と阿部は昨年秋の暴力団狩りで同署に検挙され現在保釈中だった。

アベック介抱ドロ

二十五日夜十時ごろ台東区浅草新吉原角町一特飲店「つかさ」=経営者高橋広司氏=方女中加村光子さん(三三)は体の具合が悪いので付近の病院で診察を受けての帰り、同区日本堤二の六先路上で、後からつけてきた二十五、六歳、五尺三、四寸、茶のアロハを着た不良風の男と二十四、五歳五尺ぐらい丸顔パーマの白ブラウス、ネズミスカート、夜の女風のアベックに「気分が悪いのなら送りましょう」と両脇から抱きかゝえられ、女が光子さんのエプロンから現金一千円在中のビニール製財布を奪いそのまゝ突き倒して逃走したと浅草署に届出た。



呉選手の顔も

オール中華野球チーム来日



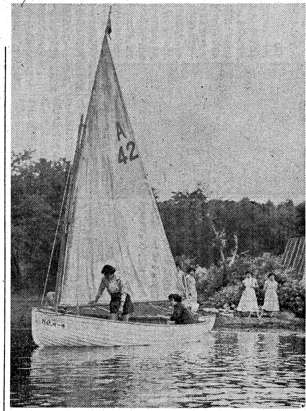


聖林の高橋敬緯子さん

ミス日本の高橋敬緯子さんはミス・ユニバースに見事第五位で入賞したが、八頭身に和服姿も似合うでしょうと、このほどハリウッドに茶羽織で訪ずれ、やんや〳〵の人気を集めた。【写真はハリウッドを訪問した高橋さん(左)ハリウッド発UP=サン】

内職に列車泥棒 夜行専門、カメラ盗む

…価百万円)を盗み浅草、新宿、熱海などで入質、遊興費に当てた。…い戻り、港区赤坂田町「い…」自動車修理工場で修理工と…に食わぬ顔をして働いてい…田は盗みが終るとすぐに東…た。



湖の夏

海へ、山へ。若さと健康の喜びに満ちた青年たちは夏休みを謳歌する。女性キャンパーの多い山中湖畔には華やかな歌声がきこえ、静かな湖面にはヨットが音もなく滑る。空も青く、水も青く、乙女たちの希望と夢は風になびく帆のようにいっぱいにふくらんでいる。夏は若人の季節なのだ。【写真は山中湖畔にヨットを浮べる女性たち】

屋根伝い"マンボ強盗" 湘南に頻々 若い三人組

【横浜発】最近湘南の沿線で屋根を伝い二階から押入る「マンボ強盗」が出没当局を悩している。二十五日午前五時ごろ鎌倉市雪ノ下町三九喫茶店経営者稲見園子さん(三八)方裏手のへいをよじ登り、はしごをかけた上二階の雨戸をこじ開けて三人組の若い強盗が押入り稲見さんと母親よしさん(七三)の二人にこん棒を突きつけて脅し「女ばかりの家とは知らずすまなかった、俺たちの生活がよくなったらきっと返すから」と現金二万六千円を奪いさらに二人は恐しさにふるえる家人をよそに口々に「マンボイタリアーノ」を歌いながら屋内を物色、宝石入金指輪、腕時計など十数点(二万円)を風呂敷に包みビールをあおりマンボで奇声を上げたのち、一時間もねばりゆうゆう逃走した。

このほかさる十七日にも一味の一人とみられる二十四、五歳の男が同様二階から藤沢市辻堂の菓子屋に押入り、同様マンボーウーとうたいながら五千円を強奪している。

神奈川県警本部では二件とも同じ湘南沿線でしかも日曜日前後に起きているので海水浴帰りにやった不良の仕業とみているが、暑くなると戸締りが自然おろそかになるので注意するよう二十六日湘南一帯の民家に警告を出した。

ふし穴 キッチンという名の♨旅館

次々と新型のサロンが生れてもうこれ以上の種はありませんーてとこにきているようだが、こんどは渋谷の松濤公園の近くに、♨旅館の最新型がお目見得した。「お好みクッキング・ルームC」がそれで、チョイと頭のよい企画だ。

まだ交際の浅い彼女に向っていきなり「♨に行きませんか」などといったらブチコワシの場合が多い。ところが「食事をしませんか」と誘っても決してエチケットには反しない。Cは表面は"高級お好み焼"と称して、アベックで部屋に通ると、トースター、ミキサー、フライパンその他料理に必要な七ツ道具が準備され、水入らずで彼女の手料理のハンバーグでもトーストでも楽しめるという寸法。だが、フト部屋の一隅のカーテンのスキ間をのぞけば、そこには枕が二つキチンと並んだダブルベッドが鎮座ましましている。食事を誘って、ビールか洋酒でも彼女に飲ませれば、そこはアルコールの微妙な魔力が作用して、併行線であった彼と彼女の関係が、たちまち交叉するといった具合。



つまりはキッチンという名の♨旅館なのだが、交通の便がよくないせいか、ホテル式の豪華な雰囲気で、一泊の部屋代は案外安い。

アプレとはいえしっかり娘もあるらしく、部屋に入ったトタン、いち早くカーテンのかげのベッドを察知して、「あら、あたしはお食事というから来たのよ、失礼ねッ」と、フンゼン席を蹴ってお帰りになったお嬢さんもあったとか。この店のマスターは「すべてシステムは男性の味方でして…」とモミ手をしているが、裏を返せば"女性の敵"とも相成る。「その気」の方なら文句はないが「その気」でない女性はご用心のほどを…。(黄)

【写真はCにて】

公金五百万円横領 区整事務所 経理係長らを逮捕

淀橋署では二十六日朝都第三復興区画整理事務所庶務課経理係長、都主事佐々木正健(四八)=都下昭島市宮沢四一五=と同補償課補償係雇員比江島道孝(三三)=新宿区柏木三の三六〇=の二人を業務上横領の疑いで送検した。調べでは佐々木はさる二十四年妻はつせさん(四三)=さる五月二十五日死去=の胃ガン療養費に公金三十万円を横領、使い込んだのを手はじめに区画整理の移転者に対する補償金支払いの直接監視責任者である立場を利用、その後三十万円の穴埋めのため競輪、競馬にもコリ出してずる〳〵とさる五月までの六年間に公金計四百七十万円を横領していた疑い。佐々木は二男四女があり給料は十一級七号俸(約三万円)だった。



佐々木 比江島

また比江島はさる五月末新宿区角筈一の一竹平嘉吉さんに渡すはずの補償金二十七万円記入の小切手を横領していたものだが一方同事務所側の話ではこのほか昨年暮ごろから半年の間に約二百数十万円を横領しているとの風評があり比江島を調べ中であった。

なお、佐々木の横領が六年間もわからなかったことにつき、同事務所遠藤孝一庶務課長は「当所で取扱う補償金は間年一億円もあり、支払いが小切手ばかりなので支払い期限のズレのために帳簿上では発見出来なかった」と語っている。

海山天国 あちやらこちやら ⑩ 奥多摩

あぶれて野宿組も 大繁昌のキャンプ



〇…こゝ氷川キャンプ村を呼んで"都民の奥庭"といっている。頷かれる言葉だ。立川で国電青梅線に乗りかえ一時間足らずで奥多摩の吊り橋にかゝる。こゝいらあたりから日向和田、御嶽、川井、鳩の巣、氷川と軒並ならぬ駅前のキャンプ村ー。カナ〳〵〳〵とひぐらしが鳴き夕餉の煙があがるころともなれば、キャンプ合戦は一しお賑やかに相成る。お嬢さん高校生だろう「おじゃがはどうやって切るのよー」とか「アイスカレー」ライスカレーの意)が簡単よ」といってるかと思うと、お隣のアベック・バンガローでは誰も見てないからいま流行のプロレスごっこをしましょうよーとドッタンバッタン"なか〳〵もって派手である。かとみれば ご飯の こげるにおいに"アラーッ!"と驚く悲鳴などさま〴〵だ。

〇…「この辺は変死人が多いんですよ」と氷川キャンプ事務所の原島さんは次のような漫談を一クサリー「昨夕はキャンパーでバンガローは超満員。アベックの方を数組お断りしたところ、路傍で寝たんですネ。ところが夜中になって役場の人が見回り、足につまずき心中のお化けだと大騒ぎーハーハ」と結ぶのであった。

えと文 榎本映一

佐藤 小河内ダム建設事務所 所長を召喚

都庁汚職を追及中の東京地検特捜部は二十六日午前十時水道局小河内貯水池建設事務所長佐藤志郎氏(五四)=中野区上高田町三七一=を召喚、談合容疑で取調べを行った。同所長はさきに逮捕された建設局総務部前用度課長山中静一氏と同様、水道局関係では工事契約、物品納入、払下げ事務などについては責任の立場にあり、今回の取調べは小河内ダムの不用建設資材払下げ問題で庁内紙記者らとともに業材不正落札の一役をかった疑い。

上野で服毒心中 邪恋清算の…幹部

二十六日午前六時半ごろ台東区上野公園元竹ノ台高校裏草むら内で若い二人連れの男女がブロバリンをのみ苦しんでいるのを上野署員が発見、付近の病院へ収容したが両人とも生命危篤。所持品から男は小樽市南高島町一九日本製粉小樽工場労組執行委員教宣部長の加藤金次郎さん(三〇)女は世田谷区祖師谷一の二八六店員北村清さん(三〇)で、前夜同区車坂五九小泉旅館に宿泊し同夜九時ごろ浴衣に着かえたまゝ散歩にいくと出かけたまゝであった。なお佐藤さんには妻子があるところから邪恋を清算しようとして心中を図ったものらしい。

トラックと衝突 オート三輪の二名死傷

二十六日朝九時四十分ごろ世田谷区成城町四五三先十字路で大田区雪ヶ谷五一五永久保建材のトラック永久保源蔵運転手(三七)と文京区雑司ケ谷一四佐藤土木請負業のオート三輪中村英雄運転手(三三)の車が衝突しオート三輪はドブの中に転落、助手台に乗っていた佐藤さんの長男博君(一八)は即死、中村運転手は左腕に全治二週間の負傷。

独眼灯

〇…「死刑囚のおばさん」というのが二十五日大阪拘置所で表彰され法務大臣賞をもらった。このおばさんとは京都市左京区吉田中大町大倉浅多子さん(四三)である。

〇…昭和二十七年死刑の判決を言いわたされた和歌山県殺人犯K(三三)とN(三〇)を死刑執行まで毎月数回、差し入れを続け、励まし親兄弟にかわって世話をした。

〇…その後本年まで縁故者から見捨てられた死刑囚九名を親替りになって慰め凶暴な囚人達から死刑囚のおばさんと慕われてきたもの。

あすのスポーツ

△プロ野球 国鉄対大洋(七時、川崎)大映対西鉄(七時後楽園)△ゴルフ 関東学生選手権(八時、朧ノ台)△競馬 船橋

松戸競輪最終日成績

◇第一B(六六六)❶相浦幸54秒3❷高梨光3/4車❸吉沢利(単)260円(複)110円190円150円(連)❸—❹1140円◇第二B(六六六)❶早川七58秒1❷高貫満1/2車❸杉山芳夫(単)970円(複)130円110円250円(連)❺—❸2040円

中野の火事

二十六日午前一時四十分ごろ中野区新山通り三の一〇矢沢光学塗装(責任者矢沢忠さん)方から出火、木造二階建工場兼住宅一棟四十坪を全焼、同工場、事務所、物置など二棟十五坪を半焼した。中野署で原因調べ中。

四ツ木橋から投身

二十六日午前一時半ごろ墨田区吾嬬町西九丁目四ツ木橋から若い男が飛込み自殺した。水上署で警備艇を出して死体を探している。

構内ではねらる

二十六日午前四時五十分ごろ国電品川駅構内で、電車を待っていた横浜市神奈川区栗田谷町一の六自動車運転手高橋辰雄さん(二六)は、進入してきた山手線電車にはねとばされ近くの病院に収容されたが頭部骨折で重体。

はねられて死亡

二十五日午後十一時半ごろ、港区芝浜松町四の五荷揚人夫高野三次郎さん(五六)は、自宅前道路を横切ろうとしたところ、銚子市下石原五一七機械製作所関口光太郎さん(四〇)の運転するオートバイにはねられ、東京病院に収容されたが二十六日午前一時二十分ごろ死亡した。